

酒田市社会福祉協議会会報 (全戸配布)

ふれあい

第23号

平成24.3.15

題字・川口遊魚さん



県立酒田西高1年生200名が、ボランティア学習の一環として、牛乳パックの灯ろうづくりを行いました。この灯ろうに手づくりろうそくを浮かべ、宮城県南三陸町の仮設住宅で“3.11希望の灯”として灯されました。

もくじ

- 24年度新たな事業に取りくみます ②
- 笑顔のプレゼントありがとう（共同募金・歳末たすけあい報告） ... ③
- 上田地区社会福祉協議会活動 ④
- おめでとう！受賞者の方々 ④
- 被災地支援ボランティアバス交流会 ⑤
- 御礼 宮城県南三陸町長メッセージ ⑥
- われらボランティア ⑦
- さまざまなお知らせ ⑧

【発行】

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

〒998-0864 酒田市新橋二丁目1番地の19
酒田市地域福祉センター内

☎23-5765 FAX24-6299
E-mail:shakyo@sakata-shakyo.or.jp
ホームページ:<http://www.sakata-shakyo.or.jp/>

八幡支部 ☎64-3765・FAX61-1214
松山支部 ☎62-2843・FAX62-2841
平田支部 ☎52-2260・FAX52-3727

会報「ふれあい」は 赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

24年度

新たなる事業に取りくみます

■成年後見を受任していきます

当社協では、認知症や知的、

精神の障がいなどにより、日常生活を送るうえで判断が低下している方の権利を守るために、

「福祉サービス利用援助事業」(8ページをご参照ください。)

に取り組んでいます。その内容は、福祉・介護サービスの利用手続きや日常的な金銭管理などを取り組んでいます。現在約50人が利用されています。しかし今後判断能力がさらに低下したり、認知症の方が増えたりなどすると、この事業では対応できなくなることが課題になつてきます。

そのため、次の受け皿として成年後見等を社会福祉法人である当社協が受任する「法人後見事業」を新たに開始し、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で

暮らしつづけられるような仕組みづくりを進めていきます。

※成年後見制度とは

判断能力の不十分な方を法的に保護し支えるための制度です。預金や不動産の管理ができない土地を売買する必要があつても手続きできないなどの場合、本人の不利益にならないよう援助する人が必要です。家庭裁判所が援助者（成年後見人など）を選び、この援助者が本人のために活動します。

■ボランティアのセンター機能を強化します

東日本大震災に際しては、「被災地でお手伝いしたい！」

という多くの市民の熱意に呼応し、当社協は「被災地支援ボランティアバス」を運行してきました。被災地では各社協に「災害ボランティアセンター」が設

置され、ボランティアの受入れと活動の割振りを行っています。本市も万一大の時は同様に取り組むことになりますが、支援

活動を通して見えてきたものは、「平時の活動なくして非常時の活動なし」ということでした。活動に参加した多くの皆さんからも、社協のボランティアセンター機能を強化してほしいという声が寄せられています。

今、災害時はもとより、ふだんの地域福祉を推進するうえでも、ボランティアのネットワークを構築し、支援を求める方と活動をしたいという方を結びつけたり、市民に活動を呼びかけたりというセンター機能が大事になっています。当社協はこうになっていました。当社協はこうした機能が弱いという実態を踏まえ、ボランティアのセンター機能を強化します。

見守りネットワークの中で自殺対策に取りくみます

本市の最近の自殺者数は、年間30～40人。自殺率では全国平均の倍近くにもなっています。

せっかくの命を自ら絶つということは、そこまで追い詰められた苦悩も計り知れませんし、残された縁者にとつても耐えがたい悲しみにほかなりません。

このような出来事をできるだけ無くしていくために、周りにいる私たちがちょっとした変化に気づき、市役所の担当窓口や医師などの専門機関につなぐ仕組みをつくる必要があります。

新年度から学区・地区社協で研修会を開催していただき、見守りネットワーク活動を強化していきます。



- ご家庭から
- 企業から
- 学校や団体から

笑顔のプレゼントありがとう

～赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金～



▲富士見小のみなさん

昨年10月より全国一斉に「赤い羽根共同募金」が行われました。各ご家庭や、企業、学校などから、多くの募金をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。皆さまからいただいた募金は、法人保育園での事業費、学童保育所、障がいのある方々の作業所での機器購入などに配分されました。歳末たすけあい募金は、所得の少ないご家庭や子どもたちへの贈りものとして各世帯へお届けしました。



▲宮野浦小のみなさん



▲港南小のみなさん



▲若浜小のみなさん



▲浜田小のみなさん

赤い羽根共同募金

募 金 内 訳	戸別募金（世帯）	10,119,270円
	法人募金（会社）	3,024,048円
	学校募金	15,190円
	街頭募金	438,164円
	職域募金	162,434円
	その他	379,079円
	計	14,138,185円

歳末たすけあい募金

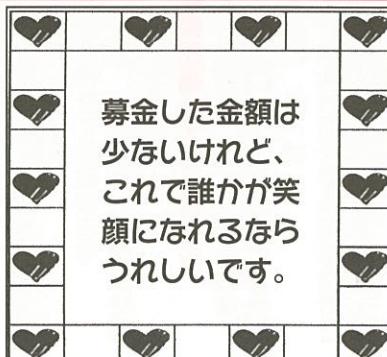
募 金 内 訳	戸別募金（世帯）	4,290,660円
	学校募金	116,092円
	個人募金	29,479円
	団体募金	288,549円
	歳末色紙展	123,601円
	その他	5,244円
	計	4,853,625円

◆ご寄付いただきありがとうございました

「酒田市青少年を伸ばそう市民会議 発足30周年記念事業」に配分金をいただき、ありがとうございました。子どもは地域の宝であり、次代を担う大切な存在です。子どもたちが事故や犯罪に遭わないよう、また万が一遭ったとしても、成長に応じた自身の力で対応できる社会を構築したく、今後も活動を展開してまいります。

酒田市青少年を伸ばそう 市民会議より

◆歳末たすけあい募金者より



松山中学校生徒会

二十個の弁当箱

上田地区社会福祉協議会

私たちの地区社会福祉協議会のふれあい給食は、草の根事業発足当時、給食担当だったみなさんが、今でも心を込めてつくっています。当時の民生部の部長が賛同し、研修会や調理講習会に参加するよう積極的に勧めてくれ、二十個の弁当箱を地域で購入したそうです。今でも「手づくり」をモットーに時間を要する煮物や寒天料理はわざわざお家でつくってくれるなど心のこもった温かみのあるお弁当。「阿・吽」の呼吸とでもいいましょうか、高齢者の喜びそうな食材を調理し、色どりよくお弁当箱に入れていきます。



春に一回、秋から冬にと計六回ふれあい給食を実施していますが、担当の民生委員の方々が、対象者に声をかけながら配り、食べ終わつた頃を見計らいつの日のうちにきれいに食べててくれた空のお弁当箱を集めてく

酒田の季節を味わうことができました。ありがとうございます」と広告紙の裏に書いて添えられています。また、おはぎや餃子のメニューの時などは「食べ物から季節を味わい、静かな時の流れを感じつつ、さまざまなごちそうに感謝しています。ひとりなのに幸せです。」と添えられています。

れます。メニューの中に桜マスク使った時は「お家にいながら

功績が顕著な方に贈られるものです。今年度は、自治会長、民生児童委員、ボランティア団体など26個人と1団体が受賞されました。

◆推薦団体および受賞者

●酒田市自治会連合会

遠藤 悅男様 荒生 悅二様
砂山 弘様

●酒田市民委員・児童委員協議会連合会

大内 和子様 池田 英男様
清和 悅子様 阿部 直子様
宮崎 重松様 守山 定利様
茂木 敏彌様 佐藤 やす子様
高橋 康一様 佐藤 建夫様
高橋 笑子様 小野寺由一様
坂本 本忠様

●酒田市八幡自治会長会

小松 幸雄様

●酒田市遺族会

池田 長一様

●酒田市ボランティア連絡協議会

尾形 キエ様

●八幡身体障害者更生会

佐藤孝一郎様

●酒田市八幡遺族会

小松敬太郎様

●酒田市老人クラブ連合会平田支部

長谷部久雄様

●平野学区社会福祉協議会

今野はるみ様

●渡部 藤男様

おめでとう！ 長年の活動に感謝して：

11月11日、酒田市社会福祉協議会長表彰式典が行われました。この表

彰は、地域福祉活動に長年尽力され、

◆推薦団体および受賞者

●前田福祉賞

●酒田市第6民生委員・児童委員協議会
五十嵐千津子様
●酒田市八幡自治会会长会
畠山 文子様

●新堀地区社会福祉協議会 小野寺清喜様

●黒森地区社会福祉協議会 瀧谷 憲義様

●滋賀地区社会福祉協議会 黒森婦人会様

●前田福祉賞

前田福祉賞とは
社会福祉の向上に尽力された故前田巖氏の遺志にもとづき、地味で目立たず他の表彰の機会に恵まれないような、善行の人を発掘し、表彰するものです。具体的には、ボランティアとして地域福祉に貢献された個人や団体に贈られます。

◆県知事表彰

●民生委員・児童委員

小山 利子様 佐藤 榮子様

●社会福祉事業従事者等

鈴木 富子様 佐藤 美子様

●一般社会福祉事業関係功労者

佐藤 桂子様 杉山みさ子様

●県民福祉大会会長表彰

民生委員・児童委員功労者
兵藤満喜子様 杉山みさ子様

●地域福祉活動功労者

池田 調様 日下部俊一様

●筒井美枝子様

被災地支援ボランティアバス参加者交流会 ～これから支援を考える～

昨年十一月二十六日(土)ボランティアバスに参加された延べ

四一七名の中から四四名が参加し交流会を実施しました。

気軽に意見交換ができるよう

にワークショ

ップ形式で

「ボランティ

ア活動の魅力

とは?」「これ

からできる活

動は?」「社協

ができること

は?」という問い合わせをテーマにテーブルを変えながら意見を交えました。



【継続のためにできること】

ボランティアバスは被災地で行うボランティア活動のハードルを下げる、どなたでも空いている時に気軽に参加できる企画となりました。しかし現地でのマッチング(活動先確保)が困難になる中、実施が難しくなりつあります。参加者からは他職種連携やバス有償化の提案もなされました。



【ボランティアのつながりも大切に】

交流会に参加された方々からは「ボランティア同士が交流できる機会が少なかったので、今回は貴重な時間だった」「ボランティア連絡会のような組織の立ち上げをしてほしい」「またこのような交流をしたい」といったボランティア同士のつながりを求める意見が多く出されました。

【支援の継続を確認】

冬の間いつたん休止となつた運行ですが、たくさんのボランティアの熱意を受け、本会として被災者への支援は続けること、今後も参

震災で避難やお引越ししてきたママさんたち、おしゃべりしましょ♪

不慣れな土地での突然の生活に休みなしの子育て…。胸のうちを誰かに聞いてほしい。酒田の情報を知りたい。ともだちがほしい。子どもと外出したい、などなど。たくさんのお手紙をいただきました。お茶を飲みながら、子どもを遊ばせながら、みんなでワイワイおしゃべりしましょう。

NPO法人『にこっと』では、毎月第四火曜日に、酒田市総合文化センターで、おしゃべり会を開催しています。

酒田(庄内)に避難、お連れしてきたママさん。子連れ参加もOKです。

★参加費 無料

★申込み・お問合せ
NPO法人にこっと

電話・ファックス
23・6330

ふれあい給食弁当をいただいて

地域の学区・地区社会福祉協議会では、ひとりぐらしの高齢者に、ボランティア手づくりの弁当を年数回届けています。このほどお礼状が届きました。

お弁当を開けると、野菜、肉魚、漬物、果物と色とりどりで美しく、もつたいなくてしばらく眺めてからいただきました。それぞれに口に合ったものばかりでした。とても幸福に思いました。

計画いただいた方々や民生委員の方々、献立をつくってくださった食改の皆様、ボランティアの皆様に厚くお礼申しあげます。(観音寺地区 女性)

御礼

このたびの東日本大震災に際しましては、貴協議会をはじめとした山形県内の多くの方々からさまざまご支援を賜わり、衷心より感謝を申し上げます。

特に、酒田市社会福祉協議会様におかれましては、震災発生直後から現在まで、本町歌津地区平成の森に開設した避難所及び仮設住宅において、大津波により自宅が流失した多くの町民のために、物資の提供といった大変ありがたい多くの支援をいただきます。
(中略)



南二陸

心の交流が 続いています

南遊佐

酒田市立南遊佐小学校の五年生がつくりた餅米を、昨年暮れ南二陸町の仮設住宅にお届けしました。その後、お札状が届き手紙のやりとりが続いています。

南遊佐小学校の皆さんへ

三月十一日午後、近くの鮎屋さんからネギ 20 kg の注文があり、ハウスに行き二時頃収穫をし、届け帰る道、

バイクに乗って走っていたらグラグラとゆれ、電柱、家が今にも傾きそうなかつた。ただ事じやない、きっと大津波が来ると思いました。家に体が弱い夫と夫の姉のおばちゃんがいました。「じいちゃん、津波が来るよ、早く用意して逃げよう」と声をかけました。じいちゃんは「なに、大丈夫だ。今までにもここまで来た事ない」つて、「二階にいる」つて。そ

どうか、貴協議会におかれましては、今後とも本町の復興に向けた未知なる挑戦に対し、これまで同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

南三陸町長 佐藤仁

でまた歩きました。中学校に上がつて海の方を見ると、小さく白い波がぼちやぼちやと見えた。あー、なんだ、今度もこれ位かなって思った時バリバリ、ガッガーと不気味な音。そのうち土煙と一緒に黒っぽい波が小学校の校庭まで来了。ここも危ないので、また上に行つて下さいとのこと。また、雪の降る中歩いた。その時、JR 気仙沼線の駅までがれきが流れ、私達が逃げる 50 m 位下までお家が流れていきました。じいちゃん、伊里前の町終わりだ、家も流れたねつて話し歩きました。でも知り合いの孫さんが「おばちゃん、毛布持つてやる」と持つてくれたり中、小、幼の子供全員無事なのが一番でした。今でもあの日、木の泣く音が耳に残っています。

今度の災害で、兄家族三人、親類の方十人、全部で十三人亡くなりましたが。それでも皆さんはじめ、全國、世界の皆さんからたくさんのご支援をいただき、夢のような毎日でした。それが、今まで頑張つてこれまで同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お手紙をいただきありがとうございます。本当につらくて、命を守るだけで大変だったと思います。家族親せきもふくめて 13 人も津波で流れました。そのしゅんかん、電気が消えました。その時、こわくてこわくて学校から帰るとラジオをつけ震災の状況を聞きました。津波 15 m 以上、亡くなつた人 3000 人と聞きました。その時、わたしは生きています。そのしゅんかん、電気が消えました。その時、こわくてこわくて学校から帰るとラジオをつけ震災の状況を聞きました。津波 15 m 以上、亡くなつた人 3000 人と聞きました。その時、わたしは生きています。お体に気をつけておすごしください。私も 3 月 11 日午後 2 時 46 分 東日本大震災がおきたことを忘れません。

酒田市立南遊佐小学校

五年

佐藤亜衣

こ（自分で）に最小限を持つてぐずせず行動して下さいね。

今、不平不満は言わず、ありがとうの気持ちと、せまいながらも楽しい仮設で生活をしています。皆さんお体に気をつけて毎日を暮らして下さい。

牧野陽子さんへ

お手紙をいただきありがとうございます。本当につらくて、命を守るだけで大変だったと思います。家族親せきもふくめて 13 人も津波で流れました。そのしゅんかん、電気が消えました。その時、こわくてこわくて学校から帰るとラジオをつけ震災の状況を聞きました。津波 15 m 以上、亡くなつた人 3000 人と聞きました。その時、わたしは生きています。お体に気をつけておすごしください。

宮城県南三陸町 主婦 牧野陽子

わわらボーラードアイP

地域ごボランティアをこいの団体を紹介します

子育て中のお母さんのイベントを主催する「わくわくうさぎ団」の皆さんにお話をうかがいました

自分たちもリフレッシュ

子育て中のお母さんが、子どもと一緒に楽しめる活動を、企画運営しています。団員は七人。ゼロ歳から小学校低学年の中生を持つお母さん達です。

「料理教室や、いも煮会、工作をしたり、親子あそびうたのコンサート、お母さんのための体操でからだを動かしたり、とさまざまなイベントを行ってきました。そのつどメンバーの家でスタッフ会議をします。が、子どもたちも一緒なので、なかなか相談が進みません。そのためしよつちゅう集まります。それが、子育てのストレス解消になつているのかも」と、メンバーは口をそろえます。

ファミリーで参加して!

お父さんたちも仲良くなりますが、いつも煮会には、親子で八十組も参加してくれました。



NPO法人いぶき理事長
星川龍一さんにお話をうかがいました

ふ・れ・あ・う

“人見知りのない地域”をつくるのが目標です。

「いぶきの家」は一條地区の住宅街のなかにあります。地域の空き家が「みんなの居場所」になりました。

地域の人たちは、料理づくりや編み物、おしゃべりなどを楽しみ、学校から帰ってきた子どもたちは、自分のおばあちゃんのようにふれあう姿が見られます。「いぶきの家」が生きがいづくりのきっかけになつているようです。

気持ちがやさしくなる

子どもを安心して預けられると保護者の方々にも評判です。おばあちゃん達に、親に話せないことも話す子もいます。子どもたちを包んでくれる、そんなやり取りがありがたいそういう活動を行つていきたい」とい

うわくわくうさぎ団の団員です。

◆いぶき主催の地域さえあい講習会があります。どなたでも参加できます。

●日時 24年3月25日(日)

10時～14時

●場所 酒田市一條コミュニティセンター

星川さんの夢は、地域にストーリーコミセンをつくることです。

イベントの情報は、市の広報や、中町の「交流ひろば」のポスターを見てください。

●内容 さわやか福祉財団デイサービス、子育て、ときに

はイベントをしたり、さまざま

な情報発信をするなど、多くの機能を持ち合わせた拠点です。

年代や目的の自由なサークルが地元にたくさんできれば、その集合体として、交流の場となります。それにより、同じ目線でつながり、新たな“絆”が生まれるので、と星川さんは語ります。一條地区がそんな地域になります。一條地区がそんな地域になるのも間近と感じる「いぶきの家」でした。



問合せ先

酒田市市条字村ノ前48-1
TEL 080-6048-6541

加藤昌之氏講演他

◆社会福祉協議会へのご寄付ありがとうございました

あいおいニッセイ同和損害保険株山形支店酒田支社様… 車いす1台
 酒田市立第六中学校生徒会様……… 車いす1台
 酒田市消費者の会様…………… 17,664円
 浜田学区コミュニティ振興会様……… 4,350円
 酒田飽海更生保護女性会様…………… 20,000円
 匿名(ワークショップヤッホーへ)… 100,000円
 酒田飽海建設総合組合八幡支部様……… 32,200円
 匿名…………… 1,000円
 酒田飽海建設総合組合酒田大工支部連合会様… 13,290円
 匿名……………リハビリパンツ、紙パッド
 菅原公子様…………… 車いす1台他
 丹青会様…………… 20,000円
 財団法人郵政福祉東北地方本部様… 福祉車両1台
 酒田飽海建設総合組合様…………… 5,503円
 株式会社ト一屋様…………… 175,489円
 匿名…………… 30,000円
 カトリック酒田教会様…………… 10,000円
 高校生ボランティアサークルかざみどり様… 17,566円
 酒田カントリークラブシニア例会様… 17,957円
 匿名…………… 200,000円
 共立社酒田生協様…………… 30,000円
 庄内ヤクルト販売㈱・庄内ヤクルト販売店親交会様
 (障がい者サポートセンターあらた、ふれあい工房へ) … 各50,000円
 酒田飽海建設総合組合東平田支部様… 10,000円
 株式会社山形ビルサービス庄内支社様
 (母子福祉ねむの木会へ) …… ケーキ10個
 株式会社荘内日報社様…………… 50,000円
 岡とし子様、遠山勝子様、佐竹桃代様… 1,000,000円
 山形県立酒田東高等学校生徒会様……… 12,948円
 孝祥寺寒行者一同様…………… 10,000円

※24年2月末現在

防災マメ知識

「炊飯器(電気)がなくてもご飯ができる」

用意するもの

ポリエチレンの袋、1合の米と水、なべ

- ①袋に米と水（各1合）を入れ、空気を抜き、口をしばる。
- ②なべに湯を沸かし約40分煮る。
- ③10分ほど蒸らす。
- 袋が食器がわりになります

◆暮らしのお金の管理を支援します

～福祉サービス利用援助事業～

困っていますか？

- お金の使いかたが不安
- 通帳やはんこを置き忘れる
- 書類が届いたけど、よくわからない

認知症、知的障がい、精神障がいのある方を対象に、つぎの支援をします。診断書、療育手帳、精神保健福祉手帳の有無は問いません。

- ①福祉サービスの利用の手続きをします。
- ②生活費をおろして届けたり、さまざまな日用品代金の支払いをします。
- ③通帳やハンコなどを預かります。

- 利用料 1回1,500円
- 施設入所、病院入院中の方も利用できます。
詳しくは、お問い合わせください。

酒田市社会福祉協議会 電話23-5765

◆心配ごと相談所(無料)

毎月第1・3火曜日 4月は3日と17日です。

※時 間 9:30~15:00

※場 所 酒田市地域福祉センター

酒田市新橋2-1-19 電話 23-5765

相談は人権擁護委員が対応し、日常のどんな相談にも応じます。ひとりで悩まずご相談ください。予約不要です。秘密は守られます。

◆ボランティア活動保険

- ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガ、損害賠償責任を補償します。
 - 補償期間は年度での1年間で、いつ加入されても次の3月31日までの補償期間となります。平成24年度からの加入手続きはお早めに。
- ボランティア行事など主催者が加入する保険や在宅福祉サービスを行う団体が加入できる保険なども取り扱っております。

詳しくはお問い合わせください。

酒田市社会福祉協議会 電話23-5765

